

夷隅地域水田フォーラムを開催！

～夷隅地域大規模稲作経営体の経営改善に向けて～

夷隅農業事務所改良普及課 令和4年1月11日発

夷隅農業事務所では、作業の効率化や労務管理等、稲作経営体の経営改善を図るため、12月10日に大多喜町中央公民館ホールで夷隅地域水田フォーラム「中山間地域における水田経営を考える会」を開催し、66名が参加しました。新潟県上越市の有限会社穂海農耕 代表取締役 丸田洋氏から、GAP導入によるメリットや人材育成、スマート農業の活用などについて基調講演をいただきました。その後、夷隅地域の大規模稲作経営体を代表して3名が登壇し、それぞれが抱える課題について丸田氏と意見交換しました。

参加者からは、「丸田氏の経営に対する考え方やGAPの取組が参考になった。」「従業員が働きやすい環境づくりの考え方を取り入れたい。」といった声が聞かれました。

今後も農業事務所では、夷隅農業の根幹を担う大規模稲作経営体の課題解決に向けた支援を進めていきます。



基調講演での有限会社穂海農耕
代表取締役 丸田洋氏



60代、50代、30代の生産者が参加
してのパネルディスカッションの様子